

# 香港株式市場フラッシュ

## 「台湾有事」リスクにおける台湾資本中国企業の存在

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhito.sasaki@phillip.co.jp

フィリップ証券株式会社

2023年1月25日号(1月25日作成)

### ”「台湾有事」に関する報道”

連日のように「台湾有事」が新聞やメディアで取り上げられ、株式投資においても大きなリスク要因として挙げられている。

昨年8月にペロシ米下院議長(当時)が台湾を訪問し蔡英文総統と会談した際には、強く反発した中国が台湾周辺で大規模演習を行い、弾道ミサイルを日本の排他的経済水域(EEZ)に落下させて台湾をめぐる緊張が一気に高まった。

また、昨年10月に開催された中国共産党大会で最高規則にあたる党規約に「台湾独立に断固反対し抑え込む」との強い決意が盛り込まれ、人事面でも習近平国家主席に近く台湾情勢に精通した幹部を相次いで引き上げたとみられる。

### ”台湾資本の中国企業“

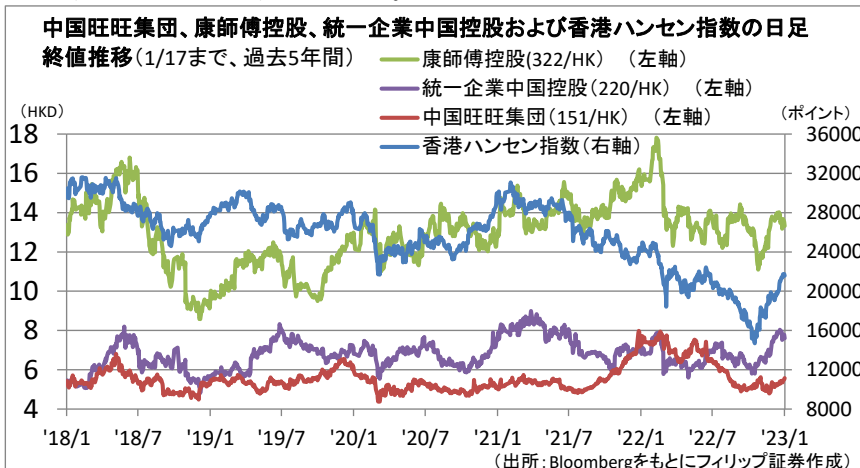
「台湾有事」に際して無視できないのが台湾資本の中国企業が中国本土の経済に大きな影響を及ぼしている点だ。それらの企業が引き揚げた場合のデメリットを考慮した場合、世の中で喧伝されるほど台湾有事リスクが高いわけではないという見方の余地もあるだろう。主要な台湾資本の中国企業として以下の3社が挙げられ、いずれも中国本土での売上比率がほぼ100%を占める。

世界最大の米菓メーカーにして中華圏最大の食品会社である**中国旺旺集団[ワンワン・ホールディングス](151/HK)**は、中国本土および台湾では「旺旺雪餅」、「旺旺仙貝(せんべい)」、「旺仔ミルク」、「旺仔QQ糖(グミ)」、「旺仔小饅頭(卵ボーロ)」などで広く知られる。1/24終値で時価総額が645億HKD(約1兆700億円)に達する。

台湾の頂新国際集団の傘下にある**康師傅控股[ティンイー](322/HK)**の康師傅(カンシーフ)は、即席麺の世界需要の約4割を消費する中国で2021年の市場シェアの45.7%(ACニールセン調査)の首位だ。「高価格・プレミアム価格帯」では「紅焼牛肉麵」、「香辣牛肉麵」等に注力し、「スーパープレミアム価格帯」市場では「湯大師」や「速達麵館」等のシリーズが知られる。1/24終値で時価総額が733億HKD(約1兆2167億円)に上る。

台湾国内の食品関連・流通企業で最大手の統一企業グループの傘下である**統一企業中国控股[ユニ・プレジデント・チャイナ](220/HK)**は、中国本土の果汁飲料、即席麺事業などを展開し、飲料では果汁飲料の「鮮橙多」、茶飲料の「統一緑茶」、ボトルウォーターの「ALKAQUA」など、即席麺では「湯達人」「滿漢大餐」「藤嬌」などのブランドを取り扱っている。中国市場でのシェアは、即席麺では康師傅に次いで2位、また、飲料市場では首位のコカコーラに次ぐ2位の座を康師傅や中国旺旺集団と争っている。1/24終値で時価総額が330億HKD(約5478億円)だ。

これらの企業の株価推移を見ると、2021年初から香港ハンセン指数が下落基調になるなかで相対的に堅調に推移しており、「台湾有事」は具体的な現実のリスクとはまだ見られていないように思われる。



### ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全95銘柄)における終値の2021年末来騰落率

前回基準日: 20230111 基準日: 20230124

順位	2021年末来騰落率・上位10銘柄 (%)	前回順位	
1	金沙中国 [サンズ・チャイナ]	65.2	1
2	携程旅行網 [トリップドットコムグループ]	59.1	2
3	中国神華能源 [チャイナ・シェンファ・エナジー]	54.8	4
4	中国聯通 [チャイナ・ユニコム]	53.9	3
5	中国海洋石油 [CNOOC]	51.6	6
6	銀河娛樂 [ギャラクシー・エンターテインメント]	35.9	7
7	Haidilao International Holdi (海底撈)	33.5	5
8	中国石油化工 [シノベック]	32.8	13
9	中国移動 [チャイナモバイル]	30.7	10
10	華潤置地 [チャイナ・リゾーシズランド]	27.7	14

順位	2021年末来騰落率・下位10銘柄 (%)	前回順位	
95	小鹏汽車	-80.5	95
94	SenseTime Group Inc (商湯集団)	-60.5	93
93	碧桂園控股 [カントリー・ガーデン・ホールディングス]	-57.3	92
92	舜宇光学科技(集団) [サニー・オプティカル・テクノロジー]	-56.2	94
91	Ming Yuan Cloud Group Holdin (明源雲)	-54.5	90
90	CG SERVICES (碧桂園服務)	-54.4	91
89	万国数据服務 [GDSホールディングス]	-51.3	89
88	蔚来汽車[ニオ]	-46.5	88
87	ピリビリ	-43.9	85
86	吉利汽車控股 [ジーリー・オートモービル・HDS]	-42.7	86

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

### 【2023年1月中国主要経済指標】

- 1月12日(木)
    - ・12月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回+1.6%、結果+1.8%
    - ・12月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回▲1.3%、結果▲1.7%
  - 1月13日(金)
    - ・12月貿易収支: 前回+698.4億USD、結果+780.1億USD
    - ・12月輸出<前年同月比>: 前回▲8.7%、結果▲9.9%
    - ・12月輸入<前年同月比>: 前回▲10.6%、結果▲7.5%
  - 1月16日(月)
    - ・12月新築住宅価格<前月比>: 前回▲0.25%、結果▲0.25%
  - 1月17日(火)
    - ・12月小売売上高<前年同月比>: 前回▲5.9%、結果▲1.8%
    - ・12月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+2.2%、結果+1.3%
    - ・1-12月固定資産投資<前年同月比>: 前回+5.3%、結果+5.1%
    - ・1-12月不動産投資<前年同月比>: 前回▲9.8%、結果▲10.0%
    - ・12月住宅販売金額<前年同月比>: 前回▲28.4%、結果▲28.3%
  - 1月20日(金)
    - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.65%、結果3.65%
    - ・5年ローン・プライムレート: 前回4.30%、結果3.65%
  - 1月31日(火)
    - ・1-12月工業利益: 前回▲3.6%
    - ・1月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回47.0
    - ・1月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回41.6
  - 2月1日(水)
    - ・1月(財新)製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.0
  - 2月3日(金)
    - ・1月(財新)サービス部門PMI: 前回48.0
  - 2月7日(火)
    - ・1月外貨準備高: 前回3.127兆USD
  - 2月9日(木)~15日(水)
    - ・1月資金調達総額: 前回1.310兆元
    - ・1月新規人民元建て融資: 前回1.400兆元
    - ・1月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+11.8%
- (出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

- ・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。